

報道関係者各位

2024年10月3日(木)

株式会社明電舎

## インド高速鉄道 1 号線（ムンバイ～アーメダバード間）向け 変電機器の大型受注

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫/東京都品川区 以下明電舎）とインド現地法人である MEIDEN T&D (INDIA) LIMITED（以下 MTD）は、インドのラーセン・アンド・トゥーブロ社（Larsen&Toubro Ltd. 以下 L&T 社）より、インド高速鉄道 1 号線向けの変電機器を受注しました。

### ■ プロジェクトの概要

本プロジェクトは、インド高速鉄道公社（National High Speed Rail Corporation Limited）が計画するインド初となる高速鉄道合計 7 路線のうち、ムンバイからアーメダバード間 508km を結ぶ 1 号線の建設工事です。双日株式会社（東京都千代田区 以下双日）と L&T 社の共同事業体が、変電・配電・架線システムの電力工事をパッケージで受注しており、明電舎と MTD は一部の変電機器の製作を請け負います。



### ■ 受注の内容

1 号線に建設される 12 か所の変電所を含む、全 45 ポスト向け変電機器を受注しました。明電舎が切替用開閉器と配電盤を、MTD がスコット変圧器と単巻変圧器を製作します。（受注金額は非開示）



切替用開閉器



スコット変圧器

明電舎と MTD<sub>※</sub>は、インド貨物専用公社が手掛けた「デリー～ムンバイ間貨物専用鉄道」においても、レワリ～バドダラ間のフェーズ 1、バドダラ～ムンバイ間のフェーズ 2 に双日と L&T 社の共同事業体を通じて、計 287 台の変圧器を納入しております。

明電グループは今後も、長年培ってきた海外電鉄事業の技術と経験を生かし、都市の抱える環境課題の解決や経済発展に寄与することで、鉄道が導く持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以 上

※デリー～ムンバイ間貨物専用鉄道受注時（2016 年、2017 年）の社名は「プライム明電」

### ■ 参考リリース

2017 年 1 月 11 日

インド貨物専用鉄道向け変圧器 192 台を受注

[https://www.meidensha.co.jp/news/news\\_03/news\\_03\\_01/1242656\\_10499.html](https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242656_10499.html)

2017 年 7 月 27 日

双日-インド L&T 共同事業体から貨物専用鉄道向け変圧器を受注しました

[https://www.meidensha.co.jp/news/news\\_03/news\\_03\\_01/1242689\\_10499.html](https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242689_10499.html)